

令和7年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験
【大学等推薦特別選考】に係るQ&A

【特別選考（大学等推薦）について】

Q 1 大学等推薦特別選考はいつから行っているのか。

A 1 岡山市の求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた優秀な人材を確保するため、大学等推薦特別選考を2019年度実施の採用試験から実施している。

Q 2 大学等とはどういうことか。

A 2 大学、大学院又は教職大学院を大学等としている。

Q 3 すべての大学が対象となっているのか。

A 3 推薦する受験区分（教科）に相当する教諭一種（専修）普通免許状取得のための課程認定を受けている大学等を対象としている。

Q 4 どのような出願要件があるのか。

A 4 出願には大学等の推薦が必要となる。令和8年4月1日より、岡山市の教員として勤務可能であることや出願した受験区分（教科）に該当する一種免許状又は専修免許状の取得が必要となる。詳細は「大学等推薦特別選考実施要項」で確認していただきたい。

Q 5 対象となる受験区分や推薦できる人数は決まっているのか。

A 5 総合的に判断し、小学校は、各大学等につき2名までとし、対象となる受験区分から推薦することとしている。中学校は、令和6年度実施より、国語、英語、技術、美術については各大学等につき各2名までとし、その他の教科は各教科につき1名を対象となる受験区分から推薦することとしている。詳細は「大学等推薦特別選考実施要項」で確認していただきたい。

Q 6 推薦可能な最大的人数は何人か。

A 6 大学、大学院、教職大学院それぞれから16名（小学校2名、中学校14名）推薦が可能である。
〔最大推薦人数の例〕
A大学：小学校2名
 中学校14名（国・英・技・美 各2名 / 社・数・理・音・家・保体 各1名）
A大学大学院：小学校2名、
 中学校14名（国・英・技・美 各2名 / 社・数・理・音・家・保体 各1名）

Q 7 なぜ、小学校の推薦可能人数を最大2名としたのか。

A 7 小学校においてさらに多くの魅力ある人材を求めているため、拡充することにした。

Q 8 なぜ、中学校の一部教科のみ推薦人数が2名までなのか。

A 8 募集に対する応募倍率、充足率を鑑みて、採用困難な状況にあるため。

Q 9 同一大学に大学院と教職大学院がある場合、それぞれから推薦ができるか。

A 9 大学院と教職大学院から、それぞれ推薦することが可能である。

Q10 同一大学の学部から中学校音楽と中学校美術で推薦することができるか。

A10 中学校音楽1名と中学校美術2名までを推薦することは可能である。

Q11 同一大学の学部から小学校2名と小学校〔英語枠〕2名を推薦することができるか。

A11 推薦することはできない。

同一大学からは、小学校（各枠を含む）2名を推薦することができる。

Q12 推薦に係る提出書類はどのように提出すればよいか。

大学等において、提出書類を取りまとめ、岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課へ持参又は郵送すること。

大学等が準備し提出するもの … 推薦書・成績証明書・返信用封筒1通

A12 ※ 返信用封筒は、受験者が用意するものとは別に、大学が推薦した者が特別選考の受験を認められたかどうかを通知するものである。

※ 受験者は令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験実施要項に定める出願手続きに従い、出願書類を提出する。

Q13 大学等推薦特別選考の対象にならなかった者はどうなるのか。

一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付ける。第1次試験の教科等専門試験免除の措

A13 置は行わない。選考結果は6月中旬に大学等に通知し、受験者へは、6月中旬に「受験票の発行通知」を登録された電子メールアドレス宛に選考結果を送付する。

Q14 試験内容はどのようになるのか。

特別選考の対象者となった場合は、第1次試験のうち教科等専門試験を免除し、個人面接を実施す

A14 る。第2次試験の受験資格を得た者は、出願した受験区分で、一般選考の受験者と同様の第2次試験を受験する。

Q15 大学等推薦特別選考の対象者となった者が、欠席や採用を辞退することになったらどうなるのか。
(大学からの質問の場合)

受験者は岡山市の教員が第一志望で、勤務を希望して出願しているため、そのようなことはないと思

A15 われる。しかし、やむを得ない状況が起こることはあるかもしれない。そのような場合は、まずは事情を聞き取って報告をしてほしい。大学等との信頼関係で成り立つ制度だと考えている。

Q16 次年度以降、大学等の実績によって推薦ができる人数が変わってくるのか。

A16 次年度以降のことは未定である。